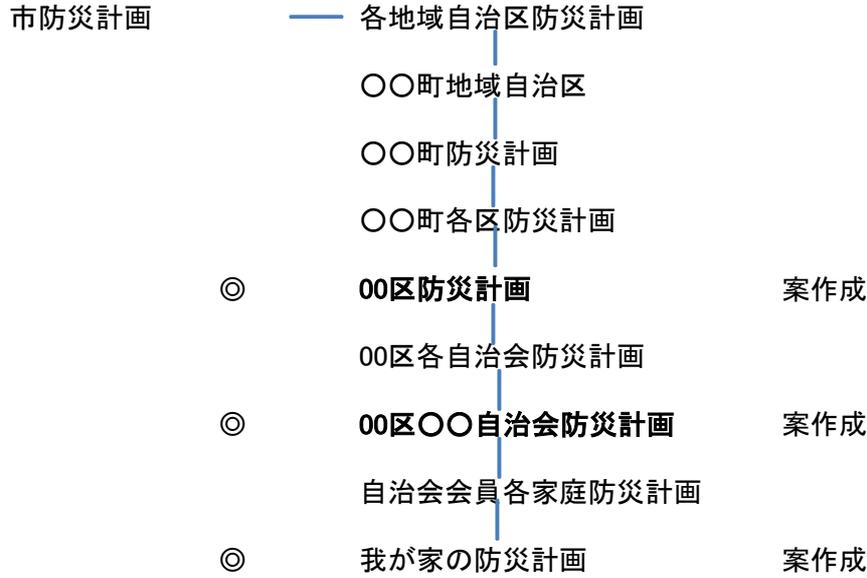


防災計画の位置付け



00区 及び自治会の
防災計画の構成

構成は〇〇町防災計画に準ずる

- 1.方針
- 2.目標
- 3.長期的活動計画
- 4.活動日程
- 5.00区の地域特性
- 6.活動内容
- 7.実践と検証
- 8.計画管理
- 9.配布改廃記録

以上

体裁

用紙サイズはA4縦
 書式は EXCELを用いた
 ページレイアウトは 横書き
 余白は上0.9H0.8 左1.5右0.6下0.9F0.8とした
 文字サイズ11P
 フォントはMSPゴシック
 行高さは13.5(標準)とした

ドラフトの記録媒体

DVDに焼いて自治会長へ提示

案

〇〇町〇〇区防災計画

制定日

改定日

本書の最新版は区長が最新版の日付で証明する

本書は管理版である

本書はCOPYで改定が及ばない

1.方針

恵那市は 阿寺断層・恵那山屏風山断層などに近接し震度6弱の地震を想定しなければならない

〇〇町は 南北に阿木川が流れ岩村地区に想定外の集中豪雨が長時間降り続けば大洪水のおそれがあり 00区は流域住民の避難地域になる可能性を想定しなければならない

これらの大災害時は インフラの途絶(電気水道通信)を覚悟して
自助を基本に防災計画を立案しなければならない

各自治会は 自助を基本に1週間を生き延びる防災力を確保しつつ
災害弱者を協働して 支援共助できる体制を目指す

2.目標

町の防災計画に基づき 区内の組織(自治会・自主防災隊)の防災力の向上を図る

区長は常に要支援者 災害弱者の動向を把握するよう 自治会を指揮する

区長は常に区内の防災情報を広く収集し 減災のための施策を講じる

区長は他地区・他団体との連絡を密にし防災知識を集め 区内の組織に普及する

3.長期的活動計画

平常時の防災活動を具体的に計画する

災害時の防災行動をマニュアル化する

区内の組織の活動を促し啓発し支援する

自主防災隊編成を管理し要支援者リストの更新改廃を促し組織を管理する

他の外部組織との連携を密にし情報を広く求め所属する組織に普及する

区長は自治会長会議を招集し防災情報交換に努める

4.活動日程

活動項目\年度	初年度	二年度	三年度	四年度	五年度
00区防災計画の作成	◎				
傘下自治会防災計画の作成		◎			
わが家の防災計画の作成			◎		
一斉防災訓練	○	○	○	○	○
00区C+DAP WS実施		◎	◎	◎	◎

所属自治会は「A/B/C/D/E/D」計7自治会

所属世帯数は およそ740世帯のほか 非会員やアパート、マンションが地域内に散在する

地域は根ノ上高原から派生する丘陵の西縁にあり、標高は300m～320mで 阿木川付近の市街地よりGLはおよそ20m～30m高い

主要道は中央東西に県道恵那峡線が貫通し西はJR中央線土々根トンネルがある

市街化は計画的でなくおよそ市道や狭隘な枝道沿いに旧市営住宅、戸建、アパートがあり、主要道以外の道路は狭く古い木造戸建てが多く防災上は問題である

地域内に農高・第二小と緊急避難所兼指定避難所およびそれぞれに防災倉庫を備えている
倒壊・水害 被災者がこれらの避難所へ集中する可能性がある

南縁には東西に中央道が貫通しており市街地洪水などの場合の重要交通路となる

地域内には高低差20m余りの坂道が南北にあり集中長時間豪雨などの雨水集中で土砂災害の想定をすべきである また 大きなため池もあり地震破堤を想定すべきである

地域内に高圧送電線が通り定期的に航空機による点検があり また自衛隊航空訓練域であり旅客機航路であり、これらの航空機事故の想定もすべきである

隣接地域に軽金属工場があり、表面処理用強酸・苛性ソーダ・廃酸・超重量インゴットなどの運搬のため県道恵那峡線を日常的に通行し、またLPGボンベ配給車が町内を通行しこれらの交通災害などを想定内とすべきであろう

6.活動内容

〇〇町防災計画に従い区の防災計画を立案する

区の防災計画を各自治会に周知しもって各自治会の防災計画を立案させる

各自治会の防災計画を各家庭に周知し各家庭の防災計画作成を支援する

自助の仕方をわかりやすく説き計画的に行動させ個人個人の防災力を高める

個人の防災力を家庭の防災力の向上に仕上げる

共助の仕方をわかりやすく説き計画的に相互分担や援助体制を固める

年々変化する 地域連絡網 支援者名簿などを定期的に改廃管理する

常に防災の新技术新アプリ新通信網などの知識を求め地域に普及する

区長は定期の自治会長会議で防災情報を定常議題にし 知識の普及に努める

7.実践と検証

3/3

- 〇〇町の防災訓練に自治会ごとに区全体で参加する
- 参加した結果を各自治会で検証し区・自治連合会へ上げる
- 区単位で地域の防災上の問題点を図上訓練やC+DAPなどのWSで明確化する
- 明確になった問題点を解決するた防災計画を見直す
- 自助共助の仕方考え方の知識普及のため毎年防災教室を自治会単位で企画する
- 各家庭でインフラ途絶耐久一週間を目標に備蓄実践を呼びかける
- 防災組織を毎年度初めに見直させ要支援者名簿を更新させるよう指揮する

8.計画管理

- 区長は活動日程を管理し 計画実績のずれを調整する
- 区長は自治会長に自治会の 計画進捗を管理させる
- 区防災隊長は防災訓練やWSの開催を管理し区長を補佐する
- 自治会防災隊長は防災訓練や要支援者支援、防災WSの実施を管理する
- 区長は各活動を記録検討し次年度の活動に反映する
- 区の防災計画管理活動は PDCAのサイクルを回すことにより永久活動とする
- 区長は当防災計画データを区規約とともに次期区長へ確実に引き継ぐ

9.配布改廃記録

- 区長は区の防災計画の改廃を管理し最新版をDATA管理する
- 区長は区の防災計画を各自治会に配布し説明を行う
- 区長は区の「防災計画」を改定した時は自治会長会議にて配布と説明を行う
また表紙ページに最新版日付を記録する
- 自治会長は区の「防災計画」を受領した時は最新版を管理し内容を学習し
意見がある場合は自治会長会議で協議し調整する

以上

案

〇〇町00区
〇〇自治会 防災計画

制定日

改定日

本書の最新版は自治会長が最新版の日付で証明する

本書は管理版である

本書はCOPYで改定が及ばない

1.方針

- 〇〇自治会は区の方針に基づき 防災計画を策定する
- 自助共助の仕方を学び 防災計画に反映する
- インフラ途絶の際には一週間自家耐久できる備蓄を行う
- 家庭内安全のため計画的に活動する
- 地域の要支援者災害弱者を共助する体制を確立する
- 常に新しい防災情報を得るための平常時に防災WSを積極的に開催する

2.目標

- 防災組織は毎年度初めに改定し全戸配布する
- 要支援者名簿は毎年改定し 自治会長が管理し班長が把握する
- 各家庭の安全化のため具体的な活動を明示する
- 各個人の自助のための指針を具体的に普及する
- 自助を確実にした個人の 共助の担当を具体的に指示する

3.長期的活動計画

- 年間防災行事予定を作成し 継続的な活動計画を策定する
- 中長期の防災計画を作表し 自治会の防災力を高める工夫をする
- 定期の役員会や会議において防災計画を議題にして活動を管理する
- 定期の役員会や会議は 防災情報の取得機会として活用し最新の情報を普及する

4.活動日程

活動内容/活動年度	初年度	二年度	三年度	四年度	五年度
00区防災計画の作成	◎				
傘下自治会防災計画の作成		◎			
わが家の防災計画の作成			◎		
一斉防災訓練・参加と検証	○	○	○	○	○
00区 C+DAP WS実施		◎	◎	◎	◎

地域は北関東土々根丘陵の南斜面にあり
県道恵那峡線を北端に南にかけて急斜面である

西はJR中央線に接して東は関戸自治会や南は日光坊自治会に隣接する
農業用ため池(〇〇ため池)が中央部にあり、下流は山本用水に交叉接続する
ため池は北関東方面より流下する雨水を集水し藤石材が経営する〇〇マンションの
東を流下し市場田川として柳ヶ壺、野尻方面へ流下する

県道を起点にする市道は狭隘ながら市街地への抜け道として また
農高生の通学路として比較的交通量が多いが用水路が深く
人車の転落事故が危惧される

〇〇自治会の原点は〇〇市営住宅でありその周囲の原野が開発宅地として
一般に販売され現状の自治会が編成され およそ〇〇世帯〇〇余名が在住する

集会所は地域の中央部に木造戸建てが1980年代に会員の出資を主に建築されたが
耐震性老朽化の面で今後の活用維持管理に問題が顕在化している

市営住宅住開設以降 宅地拡大を経て 年月が経過し 独居者高齢世帯が多く
要支援者数は年々増加している

地域中央の〇〇マンションの家主は〇〇であり00区組織には属していない
家主は積極的に自治に務めており 問題はない

地域内に非会員が在住するが可燃ごみ等の管理費は負担しており大きな問題はない
地域内に他地区・遠隔地区所有の空き家や空き地があり、防災上の課題である

自治会の組織は〇の班で構成され00区の自治組織の役割分担を大過なく務めている
独居高齢者 高齢者だけの世帯 非婚同居世帯が多く 今後の課題である

地域には市営住宅時代の防火用水槽が〇基あるが老朽により維持管理に忌避感が強い
維持管理改廃も自治会任せである

家屋は新旧さまざまであるが 液状化の不安 耐震の不安 は常に存在する

阿寺・恵那山断層が動けば震度6を覚悟すべき地域である
そうならば 家屋倒壊・火災・インフラ途絶を覚悟すべき地域である

地域はリニア中央新幹線が地下を通過するので、防災情報を収集は重要課題である

6.活動内容

住民全員が地域の特性を知り自助のための活動を行える実力をつける

緊急地震速報で即「頭」を守る習慣ができてる

地震対策を家族で話し合っている

近所付き合いがあるし 近所の誰の安否を確認するか担当が決まっている

普段から自治会活動に参加できている

家族の安否を確認できる手段を2通り以上確保できる実力をつける
災害用伝言ダイヤル171 および 災害用伝言板Web171 または
伝言お届けサービス通信各社アプリ

インフラ途絶しても1週間は耐久力がある備蓄を行っている、と言える実力をつける
ラジオ・電池・水・食料・暖房・排泄・充電・照明

近隣の災害弱者を常に把握してインフラ途絶や要避難時に援助ができる実力がある

自家の耐震は大丈夫と言えるようにする

他家の耐震について話し合い 助言・協力の雰囲気がある

二階の・家具のない部屋で就寝している

家具・冷蔵庫は 壁に固定している

ガラス陶器の収納棚家具は 扉錠などで飛び出し防止ができています

就寝場所に履物を常備している

二階から外部へ避難可能な道具を用意している

火災警報器は設置済みであり 定期的に発報テストをしている

7.実践と検証

活動の実践は毎年 文書でチェックリストを配布して 啓蒙宣伝し知識を普及する

同時に チェックリストを回収し 自治会の防災力を把握して 問題点を顕在化する

自治会役員は 問題点を集約し次年度の活動に活かすため総会定常議題にする

8.計画管理

自治会長は 防災活動日程を管理し 当年度の活動推進を防災隊長と共同して
推進する

自治会長は 当年度の活動及び次年度の活動について 総会時に周知する
防災計画管理活動は PDCAのサイクルを回すことにより永久活動とする

自治会長は 自治会防災計画原紙データを自治会会則とともに
次期自治会長に確実に引き継ぐ

9.配布改廃記録

自治会長は 当防災計画の最新版をデータで保存し最新版を証明する

自治会長は 当計画を改訂したときは直ちに全会員および区長へに配布しなければならない
以上

〇〇町00区〇〇防災計画表紙
見直し日H30.1.14
見直し日H30.2.19

案

〇〇町00区〇〇自治会 我が家の防災計画

制定日

改定日

本書の最新版は世帯主が最新版の日付で証明する

本書は管理版である

本書はCOPYで改定が及ばない

1.方針

- 我が家は自治会の方針に基づいて防災計画を策定する
- 自助共助の仕方を学び 防災計画に反映する
- インフラ途絶の際には一週間は自家耐久できる備蓄を行う
- 家族安全第一の計画を目指す
- 地域の要支援者災害弱者を支援する実力を養う
- 常に新しい防災情報を得て家族内で共有する

2.目標

- 1月17日 3月11日 9月1日 に我が家の防災について相互確認しあう
- 要支援者の誰を支援するか把握している
- 家内の安全化のため具体的な活動を明示する
- 各個人の自助のための指針を具体的しておく
- 自助を確実にしたら 共助の担当を具体的に指示する

3.長期的活動計画

- 年間防災行事予定を作成し 継続的な活動計画を策定する
- 中長期の防災計画を作表し 我が家の防災力を高める工夫をする
- 我が家の耐震安全性の将来的な展望を持つ
- 家族の成長や高齢化を考慮した相互支援の展望を持つ

4.活動日程

活動内容/活動年度	初年度	二年度	三年度	四年度	五年度
わが家の防災計画の作成	◎				
計画の見直し		○	○	○	○

地域は北関戸土々ヶ根丘陵の南斜面にあり
県道恵那峡線を北端に南にかけて急斜面である

西はJR中央線に接して東は関戸自治会や南は日光坊自治会に隣接する
農業用ため池(〇〇ため池)が真北にあり破堤したら我が家に洪水の恐れあり

アパートは液状化により我が家方向へ倒壊の可能性を考慮すべきである

県道を起点にする市道は狭隘ながら市街地への抜け道として また
農高生の通学路として比較的交通量が多いが用水路が深く
人車の転落事故が危惧される

集会所は地域の中央部に木造戸建てがS40年代に会員の出資を主に建築されたが
耐震性老朽化の面で危険である

市営住宅住開設以降 宅地拡大を経て 年月が経過し 独居者高齢世帯が多く
要支援者数は年々増加している

地域内に非会員が在住するが可燃ごみ等の管理費は負担しており大きな問題はない
地域内に他地区・遠隔地区所有の空き家や空き地があり、防災上の課題である

自治会の組織は〇の班で構成され00区の自治組織の役割分担を大過なく務めている
独居高齢者 高齢者だけの世帯 非婚同居世帯が多く 今後の課題である

地域には市営住宅時代の防火用水槽が〇基あるが老朽により維持管理に忌避感が強い
維持管理改廃も自治会任せである

家屋は新旧さまざまであるが 液状化の不安 耐震の不安 は常に存在する

阿寺・恵那山断層が動けば震度6を覚悟すべき地域である
そうならば 家屋倒壊・火災・インフラ途絶を覚悟すべき地域である

地域はリニア中央新幹線が地下を通過するので、防災情報を収集は重要課題である

家族全員が地域の特性を知り自助のための活動を行える実をつける

緊急地震速報で即「頭」を守る習慣ができてる

地震対策を家族で話し合っている

近所のAの安否を確認する

普段から自治会活動に参加できている

家族の安否を確認できる手段を2通り以上確保できる実をつける

災害用伝言ダイヤル171 および 災害用伝言板Web171 または
伝言お届けサービス通信各社アプリ

インフラ途絶しても1週間は耐久力がある備蓄を行っている、と言える実をつける

ラジオ・電池・水・食料・暖房・排泄・充電・照明
盆暮れは 備蓄食料飲料の補充と消費会食を行う

近隣の災害弱者を常に把握してインフラ途絶や要避難時に援助ができる実がある

自家の耐震は大丈夫と言えるようにする

二階の・家具のない部屋で就寝している

家具・冷蔵庫は 壁に固定している

ガラス陶器の収納棚家具は 扉錠などで飛び出し防止ができています

就寝場所に履物を常備している

二階から外部へ避難可能な道具を用意している

火災警報器は設置済みであり 定期的に発報テストをしている

7.実践と検証

4/4

	初年度	検証	2年度	検証	3年度	検証
家具の固定 台所 居間 座敷						
火災報知器 台所 吹き抜 寝室 K/Y/M						
就寝場所の安全 就寝場所の家具撤去 履物常備						
避難用具 窓から脱出 ベランダ脱出						
安否確認避難場所 警報避難の判断 避難場所 連絡方法						
備蓄 水 ガス 電池 食料 ローソク カセットボンベ						

8.計画管理

世帯主は 防災活動日程を管理し 当年度の活動推進を防災隊長として行う

世帯主は 当年度の活動及び次年度の活動について 毎年周知する
防災計画管理活動は PDCAのサイクルを回すことにより永久活動とする

世帯主は 自治会防災計画と自治会会則とともに 我が家の防災計画を主管する

9.配布改廃記録

世帯主は 自治会防災計画 自治会会則とともに 我が家の防災計画の
最新版を管理し周知しなければならない

以上